

潮流

空前の被害をもたらした「阪神大震災」は、七十二年前の関東大震災以来の大惨事となった。肉親をなくされた遺族や被災者の皆さまに、心からお悔やみを

申し上げます。

地震は、日本を代表する近代都市神戸を、関東大震災の二倍という想像を超えた活断層の力で壊滅状態におとしいれた。電気・水道・電話・ガスなど生活

鳥取ガス(株)代表取締役社長

児嶋 祥悟



防災都市とライフライン

— 大自然の猛威と教訓 —

に不可欠なライフラインの交通網を寸断し、広範囲にわたり生活や経済に大きな打撃を与えた。

死者五千、負傷者二万七千人、倒壊家屋五万戸。ライフラインおよび高速電気・水道ともに百万戸以上がストップし、ガスも八十五万戸が供給停止となった。

鳥取ガスでは日ごろから、次のような地震対策を実施している。

幹線パイプラインは、熔接接合により耐震性を向上させ、低圧ラインは地震に強いポリエチレンパイプの普及に努めている。更に、高層建築物との接続部は、

早期復旧を図るため、ガスの供給区域を九地区に分割し、各地区ごとの安全を確保しながら、ガスの供給を再開できるようにしている。しかし、今回のような最高値八三三ガルの地震に

備や長期的な防災都市づくりが必要である。ハード面では、①非常時の情報センターの構築②地上・衛星通信ネットワーク③広域情報一元化の構築④共同備蓄センター④高架による鉄道・道路・橋梁(りよ)の補強対策⑤火災に

とたび寸断されると、ドミノ倒しのように大混乱を招いた。特に水道やガスのように地下埋設物の復旧工事は、地上に設置されている

大阪ガスは二次災害を防ぐため、神戸市を供給停止にした。現在、大阪方面を吸収させている。各家庭には、震度5(約二〇〇ガル以上)で自動的にガスを遮断するマイコンメータ

フレキシブル(伸縮自在)なパイプによって大きな震動を吸収させている。各家庭には、震度5(約二〇〇ガル以上)で自動的にガスを遮断するマイコンメータ

対応できるかといえは不十分であり、すでに鳥取大学と共同で防災対策を研究している。他の中小ガス事業者にも生かせる研究成果を期待したい。

今後の公共事業は、地震列島で生きるためのさまざまな設置し、主要な設備は、鳥取大地震相当のものには耐

側のみを重視した国土づくりがいかにか偏ったものであったか、言うまでもなからう。私たちが提唱している「日本海国土軸」は、今こそ夢物語ではなく、わが国全体の健全なバランスとセキュリティのためにも、実現に向けて早急に検討し、着手する必要がある。

全国のガス事業者から千七百人の応援隊を派遣し、総力を結集して復旧に努めているが、一月半ほどかかる予定だ。

取大地震相当のものには耐

ず、災害を想定した基盤整

この度、太平洋ベルト地帯が寸断されるにいたり、国道9号線に殺到した車両

は、人間には到底計り知れない。大自然に人間が生か

防災学が必要ではなからうか。(鳥取市)